



雪の芸術品

雪のふる里

第一回雪の芸術展

川合神社で開催

恒例の郷土川合神社の春祭りは十八日、十九日、例年は神輿が出てにぎわいを見せていたが、今年は東部第三第四常会が年行事をつとめ、初の催しとして雪の芸術展を神社境内で開催した。準備については雪の少ないことや予算の関係やらで大変苦労し、又参加者の募集等も初めての行事であることから骨が折れた。しかし東芝、クローン、ブルーバリーの各企業主の誠意あるご支援を得ることが出来、第一回としては予想以上の立派な芸術展が出来た。尚町長、議長、東部会長より奨励の意味で立派なトロフィー等の賞品を賜り、錦上更に華を添えていただいたことに深く感謝いたします。

成績は次の通り
一位 町長杯
二位 復た牛 第四常会作
三位 中学生作
四位 中学生作
五位 中学生作
六位 中学生作
七位 中学生作
八位 中学生作
九位 中学生作
十位 中学生作

審査員：
古田島 正 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長
中林 宗新 町長

これを契機に東部だけの催しではなく川口町の行事として毎年行なわれるよう希望したい。
年行事 中林 只二

新成人講座案内

今年成人となる若者を対象に、公民館では新成人講座を開いています。第一回は川口中学校長北原先生に「成人ということ」でお話しいただきました。今後の予定は表のとおりですが、若者の仲間も多くの参加者を持っていますので、是非福祉センターに足を向けてみて下さい。若者の求めている何かが必要発見できると思います。

日	時	テーマ	内容	講師
三月一日	午後六時三十分	交友と結婚	ミーティング	山吉 玄善
三月十八日	午後一時三十分	身近な法律	講 議	法務局長岡支部 総務課長
四月一日	午後一時三十分	川口町の現状と課題	座 談 会	町 長
四月十三日	午後六時三十分	将来に向けて	ミーティング	丸山 池治
			茶話会	石橋 肇

〇会場のルールなどについて、わか

三分間スピーチ

あなたがスピーチの場に臨んだとき、その場の雰囲気にはよくとけむには、どうしたらいいか。

からない点は、あらかじめ幹事に聞いておいておく。知らないことから不安を帯びておけば、それだけ早く、気持ちも落ちつきませぬ。

〇緊張などでは、話すまえに飲んでたり食べたりする。つとめてまえての話し手のスピーチを聞くやがて順番が回ってくるとなる、わくわくしてしまつて、目の前の食べ物も見えず、他人のスピーチも聞かえない。そういうときは、自分のなかにとじこ

〇聴衆をのんでは、社会的地位・肩書きにまでこだわれないで人間を見ることです。社長とか、課長とかいった肩書きをもつ人はあなたの聴衆の中にいない、どの人もただ一様にあなたのスピーチを聞く出陣者と言う考えであらば、あなたはもう、うんと気が通じるはずですよ。

火災に注意!

最近の統計によると、住家の火災は二月から四月に多く発生しております。これは春になって気候が暖かくなること、こたつ、ストーブ等の暖房器具の取扱に慣れることによることと考えられます。火の取扱には充分注意して下さい。

川口町 川口町消防団

北陸地方長期予報 新潟地方気象台発表

予報の概況
三月、四月は寒暖の変化が大きく、寒の戻りがあるみこみです。

三月の予報
前半は、冬型の気圧配置が現われやすく、風雪となる日もある。

平均気温は並みないし、やや高く、降水量は並み、日照は多めのみこみです。

四月の予報
移動性高気圧と低気圧の谷が交互に通る気圧の周期的な変わり下旬には低温となる期間がある。

平均気温は並みないし、やや高く、降水量は並み、日照は多めのみこみです。

〇隣人が自由に選べる会合では、友人のそばにすわる。野球で、ピッチャーがさがりそうになつたときなど、キャッチャーはマウンドへゆっくり歩いてきて、野球とは関係のない話、たとえば、「今晩はピッチャーといこうぜ」などといった冗談を言います。そうすることで、ピッチャーの気持ちを落ち着かせるという話がよく聞かれます。

〇聴衆をのんでは、社会的地位・肩書きにまでこだわれないで人間を見ることです。社長とか、課長とかいった肩書きをもつ人はあなたの聴衆の中にいない、どの人もただ一様にあなたのスピーチを聞く出陣者と言う考えであらば、あなたはもう、うんと気が通じるはずですよ。

第二十八回国民体育大会 冬季大会スキ一競技会

やった! やった!
まさか! やった!

十五斤(成年) 八位入賞
佐藤直利選手(中山)

大回転(少年) 入賞逸す
佐藤博信選手(大形)



力走する直利選手

農業委員会委員 選挙人名簿について

選挙現在日 一月一日現在
二十才以上(三月三十一日で満二十才となる者を含む。昭和二十八年四月一日までに生れた者)の者で十アール以上の農地の耕作の業務を営む者及びこの者と同居している親族、配偶者で、耕作の業務に従事する日数が年間おおよそ六十日以上の者

〇選挙期間及び場所
三月九日まで町役場において縦覧に供してあります。

〇異議の申出期間
三月九日まで受付けております。申請書は提出しない人、本人以外の人も異議の申出をすることができません。

一月二十日からの県スキー大会 三位、三十斤三位と佐藤の成績(全国高校生選、団体選手選) 佐藤博信君(長丁志)も又高校大では両君とも母校の名をにかけて 回転四位 少年大回転五位と言う活躍、佐藤直利君(長崎農協)も又高校大では、高校十五斤選、成年十五斤の出場権を得、同時に栄えある塩沢団体の代表に選ばれた。

〇佐藤博信君(大形) 佐藤直利君(中山) 氏次男

〇県総合スキー大会
高校大回転(二〇八二米 五八旗門)
四位 一分四十二秒六
少年大回転(二三八五米 六九旗門) 二分三秒

〇全国高校生スキー大会
男子大回転(二三五〇米 七一旗門) 七二秒八
少年大回転(二九九米 七三旗門) 七三秒

〇佐藤直利君(中山) 佐藤多吉氏長男

〇県総合スキー大会
高校十五斤 一位

の祭典第二十二回全国高校生スキー大会(三十都道府県二百七十五校参加選手四百六十四人)に出場した佐藤直利君は大物の素質を十分発揮十五斤を二位の成績、惜しくもあと一步のところまで両足のケイレンで優勝を逃した。大回転に出場した佐藤博信君はアルペン王国長野勢を始め強豪に伍して二十位という好成績を得た。

二月二十八日から開催された「雪の炎と友情」の第二十八回国民体育大会冬季大会に参加した佐藤直利君は、オリンピック候補選手と混じる十五斤成年組に出場(二月二十日)輝やかしい八位入賞と言ふ大記録を出した。この十五斤距離競技は小雨降りしきる悪コンディションの中で全国の強豪二百四十名が参加して行なわれた。二百四十名が参加して行なわれた。コースは地の利を活用して変化に富み、住宅地の間隙を縫い、山野をみくり相対の難コースであった。中山地区館長他の地元応援団の声を枯らしての声援にこたえて佐藤直利選手は猛烈に突進し、オリンピック強化会候補選手向者その激しい志をもって力走、栄冠を手にした。レースを終った佐藤直利選手は、「今回も両足にケイレンを起



回転の博信選手

したが、このレースだけには良い成績を挙げたいと無心にあつたけの力を出した。おかげさまで予想以上の記録を出せて、こんな嬉しいことはない。応援下さった皆様方に心からお礼申し上げます。」と、日やけした顔で心境を語った。

二十一日、一般リレーの県チームの第一走者に選ばれ勇気百倍快走、ついに一区間をトップで二走者ヘタツチ、新潟県チーム優勝の原動力となった。

佐藤博信選手も大回転少年組に出場(二十一日)。強豪長野・北海道勢に伍して十一位五分にスタート、眼下に魚野の流れを見下す九山スキー場の大斜面にセットされた七三旗門を高速ターンする高い技術が要求される競技、惜しくも転倒、無念の涙をのんだ。

川口町が生んだこの両君は郷土のホープであり又日本スキー界の代表選手として将来着実に力を伸ばされるよう応援するものである。

〇佐藤直利君(中山) 佐藤多吉氏長男

〇県総合スキー大会
高校十五斤 一位

〇佐藤直利君(中山) 佐藤多吉氏長男

〇県総合スキー大会
高校十五斤 一位

〇全国高校生スキー大会
男子大回転(二三五〇米 七一旗門) 七二秒八
少年大回転(二九九米 七三旗門) 七三秒

〇佐藤直利君(中山) 佐藤多吉氏長男

〇県総合スキー大会
高校十五斤 一位

〇佐藤直利君(中山) 佐藤多吉氏長男

〇県総合スキー大会
高校十五斤 一位

〇全国高校生スキー大会
男子大回転(二三五〇米 七一旗門) 七二秒八
少年大回転(二九九米 七三旗門) 七三秒

〇佐藤直利君(中山) 佐藤多吉氏長男

〇県総合スキー大会
高校十五斤 一位

〇魚沼地方は緊急地帯と呼ばれ、十二月中旬から四月中旬頃迄は、毎年村はずつぱりと雪に埋まらねむっている里のような風景であった。道路は処によっては住宅の屋根より高い処にあつて、道ですべてころんで早根に落ちた人もあつたと言ふ笑い話のような実話も残っている。

③ 長い長い冬の間雪にとざされ、活動する手段をすべて奪われて静して来た雪国の人たちは、雪消えの新年の息吹く春をこよなく愛した。それはわびからさめたすがすがしい朝を迎えたときの気持ちに似ている。生気の満ち満ちた山野、心よい春風、目にまぶしい青葉、雪にいためつけられた雪国の人達ならでは味わえない情景であつた。

④ 科学工業の著しい開発、人間活動の大きなエネルギー、二、三数年間に日本列島も驚く程変貌した。列島の中の魚沼地方をおそう雪も流れを変え変質したのではないだろうか……。

⑤ 緊急時には除雪作業による資金が欠くことのできない収入源となり、家計をうるおしたときもあつた。町に流れ込む現金は昭和四十五年四〇〇〇円もあつたと見込まれている。今や道路が舗装され、消雪パイプが敷設され、住宅も立派になり、除雪機械も完備されたとき、積雪一米位?ほしいと変な考えを起す者は一人だけであつた。